

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立浜名特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立浜名特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	117人

1. 使用状況

寄贈物品名	レーザーカッター
使用学年及び人数	高等部作業学習 8人
使用頻度	週1回程度、学習内容によっては毎日使用している
使用状況	高等部木工班の作業学習で週3回1時間から2時間程度実施している。 木工班では生徒が使用できるよう、木工室にパソコン、レーザーカッターを設置し、教師が補助をしながら、生徒が文字や柄を入力、出力をしている。 現在は作業製品のコースターに文字を出力している。
物品の使用による変化や効果	レーザーカッターや情報機器を扱うことができることで、道具の正しい利用方法や手順、安全に使用する力を身につけることができた。 また、レーザーカッターを使用することで製品の完成度が高まり、生徒の作業学習への意欲が高まった。
今後の活用の見通しや課題	現在はコースターに文字を出力しているが、今後は新製品を開発したり、教室掲示板に利用したりと活動の幅を広げていきたい。 また、肢体不自由の生徒の作業学習の取り組みにも利用していきたい。
その他希望や所感など	

2. 活用の様子



使用方法や手順、注意点を事前に確認し、始めは教師と一緒に使用しました。教師が補助しながら、生徒がパソコンで文字を入力しコースターに出力しています。

生徒からは、「製品の完成度が高まった」、「文字を書いていることで、製品の魅力が高まった」と話している。

